

「金沢市DXアクションプラン2.0（仮称）骨子案」についての
パブリックコメントでのご意見の概要と金沢市の考え方（回答）

募集期間：令和7年11月18日（火）～令和7年12月17日（水）

意見数：6件（5名）

提出方法：メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参

No.	意見の概要	本市の考え方
1	<p>金沢市がDXアクションプランのもとでオープンデータを公開し、観光DXや産業DXを推進している点を評価している。</p> <p>一方で、現状のオープンデータはCSV中心であり、CKAN API等は存在するものの、プログラミングから利用するための手順・サンプル・ドキュメントが不足しており、開発者にとって活用しづらいと感じている。</p> <p>このオープンデータとAPIを基盤に、全国からデジタル人材を観光客として呼び込み、ハッカソンを定期開催し、その後の起業支援につなげることで、金沢の経済活性化に寄与できると考えている。</p> <p>具体的な提案は以下のとおりである。</p> <p>(1) オープンデータAPIの整備と開発者向け支援の充実 APIや利用例などをまとめた開発者向けページの整備や観光DX関係データの拡充など。</p> <p>(2) 観光と組み合わせた全国向けハッカソンの開催 オープンデータとAPIをテーマにしたハッカソンを観光とセットで企画。</p> <p>(3) ハッカソンを起点とした起業支援・関係人口の創出 インキュベーション施設との連携など、参加者への継続的な支援の実施。</p>	<p>オープンデータは、種類や数の充実のみならず、利用しやすさの視点から、その充実を図っていくことも大切であると考えています。</p> <p>ハッカソンの開催提案等を含め、いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

2	<p>次期プランが掲げる「生成 AI の活用」や「デジタル人材の育成」という方向性に賛同し、期待している。</p> <p>しかし、骨子案には素晴らしい理念が掲げられてるが、それを「実際にどのように市民や中小企業に浸透させるのか」という具体的な「How (手段)」が希薄であることに懸念を抱いている。</p> <p>過去の事例や現場の感覚から、以下の施策は本プランの目的達成を阻害する恐れがあるため、回避すべきと考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 県外コンサルタントへの丸投げ・ 「常駐相談窓口」設置による受け身の対策・ 行政主導、トップダウン型の講座等の開催 <p>そのため、「10 名程度の小規模ワークショップ」の多頻度開催を提言する。</p> <p>「浸透」のための手段として、実際に手を動かす小規模ワークショップを数多く開催することが有効であると確信している。</p>	<p>デジタルの社会浸透や社会実装に向けて、デジタルツールを実際に活用できる方々を増やすため、ワークショップの開催等、実際に操作等を体験する機会を設けることも大切なことと考えています。</p> <p>なお、個別の施策は、令和 8 年 6 月頃、次期プランに掲載し、具体化を図る予定です。</p> <p>いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
---	--	--

<p>3</p>	<p>金沢市が DX を推進する意思や体制整備については一定の進展が見られる一方で、市民の立場から見たときに「DX によって生活がどのように変わるのか」が十分に伝わらないという印象を持った。</p> <p>理念として掲げられている「全ての人が便利に暮らし、幸せを実感するまち」という方向性には賛同するが、その理念が具体的な市民生活の変化として可視化されていない点が、重要な課題であると考えている。</p> <p>例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような市民が、どのような場面で、どのような不便や負担が解消されるのか。などの、生活者視点での具体的な変化の説明が不足していると感じる。 ・行政内部の業務効率化や市民向け行政サービスの改善、地域・産業・文化への波及などが同時並行的に示されており、何を最優先で実現したいのかが分かりにくい。 ・事業件数や参加人数などの KPI が市民の利便性向上や負担軽減とどのように結びついているのかが分かりにくい。 <p>市民生活の具体像や DX の目的と優先順位、市民目線での成果の示し方などについて、より明確に補足・整理されることを期待する。</p>	<p>施策の形成や説明の際には、市民の視点からも検討することが大切であると考えており、今回の骨子案の「取組方針」及び「取組の方向性」において、「利用者の視点を大切にして施策を展開していく」ことを掲げたところです。</p> <p>なお、個別の施策は、令和 8 年 6 月頃、次期プランに掲載し、具体化を図る予定です。</p> <p>市民生活の変化への説明等を含め、いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>
<p>4</p>	<p>高齢者や障害者がアプリを利用するためには、3 ボタン以内が望ましい。</p> <p>実際にアプリの利用に困っている方々に意見を聴くとよいのではないかと。</p> <p>例えば、ヘルプマークを持つ方々にアンケートを実施してみてもどうか。</p>	<p>アプリ等の開発の際だけでなく、運用開始後も、利用される方々のご意見を聴いて、改良に努めることも大切なことと考えています。</p> <p>いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

5	<p>齋場での待ち時間に利用した飲食で、現金支払いは面倒であると感じた。</p>	<p>金沢市の齋場での飲料の提供は、齋場の待合室等に関する業務を受託した事業者が行っており、その決済手段は受託事業者が決定しています。</p> <p>いただいたご意見については、本市から受託事業者に伝えます。</p>
6	<p>次期 DX アクションプランにおいては、生成 AI を単なる業務効率化の手段としてではなく、行政運営や人材育成の在り方そのものを支える基盤技術として位置付けることが重要である。</p> <p>その中核として、業務マニュアルや法令など、行政運営に必要な多様な情報を AI が横断的に理解・活用できる「行政業務に精通した AI 基盤」を構築することで、人事異動や経験年数に左右されない一定水準の業務品質を確保することが期待される。</p> <p>また、AI 活用を推進するリーダー職員の育成や、外部専門人材による伴走支援体制など、人材と体制の構築が不可欠である。</p> <p>AI 基盤の整備により職員の負担が軽減されることで、創出された余力を市民サービスの質向上に直結する業務へ戦略的に振り向けることが可能となり、市民と職員の双方にとって利便性の高い行政サービスが実現すると考える。</p> <p>行政業務に精通した AI 基盤の構築を起点として、職員の負担軽減、業務品質の平準化、人材育成の高度化を図り、その成果を市民サービスの向上へ還元する DX を進めることがよいのではないかと。</p>	<p>近年の急速な生成 AI の普及を踏まえ、その特性を理解したうえで業務に活用し、その成果を市民サービスとして還元していくことも大切なことであると考えています。</p> <p>職員の育成に関する提案等、いただいたご意見については、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

(注) ご意見については、一部要約して記載しております。